



ALUMNI COMMUNICATION PAPER

兵庫県立川西北陵高等学校

同窓会報

Vol.6
Feb. 2020

Contents

同窓会長・学校長あいさつ	2
理事会報告	3
会計報告	3
母校だより	
• 国際交流	4
川西市 ふるさと支援金	6



ご挨拶

同窓会長あいさつ

同窓会の皆様におかれましては各方面でご活躍のことと思います。川西北陵高校同窓会会長酒徳浩之（5回生）と申します。

さて、新名神高速道路が高槻から神戸ジャンクションまで開通し、1年ほど経ちましたので、遠方でお暮らしの方も川西インターで降りられた方は特にその便利さに帰省の際かなり驚かれたことと思います。逆に能勢電鉄では朝ラッシュに走っていた急行が廃止となり、特急日生エクスプレス以外は普通のみとなってしまう、近隣の人口減少についても考えさせられる状況となっております。

さて、今年度も同窓会報を発刊することが出来たことをうれしく思っております。また昨年度は前回郵送時から3年目に当たるため全会員に郵送させていただくこととしましたが、お手元に届いた会報はご覧いただけただけでしょうか。編集員が少なくページ数を減らしてのお届けとなりました母校の様子など感じていただければ幸いです。ただ在校生減による同窓会費の減少なども見越して今後郵送発刊は基本5年に一度まで延長することを考えております。会報を全会員に送付すると150万円程度の費用がかかるので5年間で必要額を積み立てていく形取っていくつもりですのでご理解いただければと思います。なお、在校生にも同窓会の活動を知っていただく一環として、学校より

生徒全員に印刷した同窓会報を作成のたびに毎年配付させていただいております。今後も同窓生との架け橋として、また同窓会と現役世代の架け橋として取り組んで参ります。

最後に役員、広報委員の募集についてお願いします。本会も30周年を越え、会報の定期発行や次世代に向けたホームページでの同窓会活動報告などを考えております。理事会も定期開催を始めましたが、しかしお手伝いいただける方が少ないのが現状です。現在の役員も現役世代の忙しい方ばかりなのでなかなか同窓会活動ばかりに注力出来ない現状もあります。現在会報は驚くほど少ない人数で作っています。ご助力いただける方はぜひビキタ内お問い合わせフォーム、または同窓会事務局へご一報ください。

以上簡単ではございますが、近況報告とごあいさつとさせていただきます。今後ともご協力賜りますようお願いいたします。



同窓会長
酒徳 浩之
(5回生)

学校長あいさつ

兵庫県立川西北陵高等学校同窓会の皆様、こんにちは。平成31年4月1日より第13代校長に着任しました森本成己です。どうぞよろしくお願いいたします。

現在、北陵高校は特色類型『探究と表現類型』を含めて各学年7クラスの計21クラス、部活動は16の運動部と10の文化部が活動しています。今年度は陸上競技部、水泳部が近畿大会に出場し、自然科学部は全国大会で発表しました。部活動は先輩や後輩との人間関係を学び、人間的な成長ができる大切な場がありますが、その中で生徒達が一生懸命に頑張り活躍してくれることは大変嬉しいことです。

さて、AIやIoTの目覚ましい進歩により、社会は大きく変化し、将来の予測が大変困難な時代を迎えています。どのような時代であっても、確かな学力を身につけることは大切ですが、学力以外の要素がこれまで以上に重要になってくるように思います。実際、企業が新入社員に求める資質・能力として「コ

ミュニケーション力」や「主体性」といったものの割合は年々高まっているようです。

このような中、北陵高校は安心・

安全な学校生活を大前提に、『未来に挑戦する力』、『未来を生き抜く力』の育成を目指しています。『未来に挑戦する力』として、特にグローバル力、キャリア力、表現力の向上に重点を置いて教育活動を推進しています。

いくつか取組を紹介させていただきますと、グローバル力向上について、西オーストラリア州の姉妹校との交流、世界に視野を広げる講演会、大阪大学留学生との交流、JICA訪問等があり、キャリア力向上について、職業人インタビュー、テーマ探究、大学等の体験講習等があります。また、表現力向上については、商品開発プレゼン、英語での日本の文化の発表、各取組の発表会等があります。本校の特色であるこのような取組に対して、同窓会から多くの御支援をいただいておりますことに、この場をお借りして感謝申し上げますとともに、引き続き本校の教育活動に御理解、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

学校ホームページの「北陵日記」には生徒たちの日常の様子がアップされています。ぜひ後輩達の様子をご覧ください。これからも同窓会の皆様の思いを大切に、地域から愛され求められる北陵高校として発展できるように、職員一同力を合わせて頑張っております。



校長
森本 成己

理事会報告

令和元年度 同窓会理事会報告

令和元年8月4日(日)11時より県立川西北陵高等学校応接室にて、同窓会理事会が開催されました。

出席者は同窓会役員および事務局、同窓会理事7名と学校側より校長先生、教頭先生、同窓会担当である春元先生、井内先生、小東先生にお越しいただきました。

森本校長より、挨拶に併せて、学校と同窓会との協力関係や支援の状況、現在北陵高校の取り組みなどの話をいただきました。

続いて、同窓会長より同窓会理事会を開くに至った経緯、同窓会の現状報告、同窓会から新たな取り組みとして、20歳になられる同窓生に対して同窓会から10万円まで補助をするので、当該年度の理事を中心に幹事と協力して学年同窓会の企画・立案をしてみないかと、いう企画の説明を交えて挨拶がありました。

議事として平成31年度の会計案を同窓会会計から提案し、理事会に承認を求めました。その後、採決が行われ平成30年度会計報告ならびに会計監査報告、平成31年度の会計案が賛成多数により承認されました。

副会長の閉会の挨拶があり閉会后、参加された理事様、森本校長先生、小寺教頭先生、同窓会役員、事務局、同窓会担当の先生方との懇親会があり、親睦を深めることが出来ました。



会計報告

平成30年度 川西北陵高校同窓会収支決算書

通常会計(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

収入の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	備考
繰越金	1,763,526	1,763,526	
会費	1,725,000	1,614,000	
雑収入	0	20	預金利息
計	3,488,526	3,377,546	

支出の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	備考
会議費			
総会費	0	0	
理事会費	50,000	19,640	理事会懇親会
事業費	事業費	290,412	ボールペン(学校名入り)
		81,000	校名入りクリアフォルダ
		189,000	ピキタサーバー管理費
広報費	1,900,000	1,410,845	会報2019
在校生支援事業	200,000	200,000	学校教育振興会
事務費	事務費	50,000	事務員給与
	小口現金	50,000	51,063
行事積立金	700,000	0	
予備費	88,526	0	
計	3,488,526	2,271,960	

【備考】

収入総額 3,377,546-支出総額 2,271,960=残額 1,105,586
差し引き残額 1,105,586円は、次年度に繰り越します。

平成31年度 川西北陵高校同窓会予算

通常会計(平成31年4月1日~令和2年3月31日)

収入の部 (単位:円)

科目	31年度予算額	30年度決算額	備考
前年度繰越金	1,105,586	1,763,526	
会費	1,614,000	1,614,000	
雑収入	0	20	預金利息
計	2,719,586	3,377,546	

支出の部 (単位:円)

科目	31年度予算額	30年度決算額	備考
会議費			
総会費	0	0	
理事会費	50,000	19,640	理事会開催費
事業費	事業費	290,412	卒業記念品費
		81,000	クリアフォルダ購入費
		189,000	ピキタサーバー管理費
広報費	400,000	1,410,845	同窓会報作成費、印刷代
在校生支援事業	200,000	0	学校内施設整備
		200,000	国際交流支援
事務費	事務費	50,000	事務費、事務員給与
	小口現金	50,000	51,063
積立金	1,000,000	0	周年行事、会報発行のための積立金
予備費	169,586	0	
繰越金	0	1,105,586	
計	2,719,586	3,377,546	

【備考】

事業費の増額分については、前年度は杉の木賞などはなかったが、今年度消費税も見込まれることから杉の木賞、クリアフォルダとも先行して、ある程度の方を買っておくこととしたため。広報費は前年度は郵送する年だったが今年度はホームページ掲載の形となるため予算減額となっているもの。積立金の増額分については前年度積み立て出来ていなかったため単年度50万円としているので2年分を積み立てる形にしたもの。

母校だより

国際交流

ニュートンモア 高校訪問 2019 報告

特色・広報部 引率教員
衣笠 亮

4月の全校集会で本年度の概要を説明し、5月に参加者の選考を行い、計14名（1年生6名、2年生8名）の生徒が訪問することになりました。参加者の大半が初の海外であり、今回から全泊ホームステイをするということも相まって、出国前はいろいろ心配することが多く、参加者・引率教員共に不安な気持ちを抱え関西空港から飛び立ちました。しかしその心配は杞憂に終わり、経由地の香港に着くや否や全員から満面の笑みが見られ、今回の訪問を最大限前向きに取り組もうとする姿勢が見られました。さらにバースに到着すると、最高の天気・抜群の景観の後押しもあり、海外生活を心配する雰囲気はどこ吹く風で、最高のスタートとなりました。

バンバリー到着直後に行われた歓迎会では、出会った瞬間から各ホストファミリーの温かいもてなしを受け、全員がなんとか

して自分の思いを伝えようと英語と格闘していました。話される英語のスピードや、今まで習ってきた発音との違いなどもあり、最初は聞き取るのに大変苦勞している姿が見られましたが、時間の経過につれて驚異的なスピードでリスニング力が上がっていくのがはっきりと感じられました。

学校訪問は月曜日から金曜日までで、ただ訪問するだけでなく、少しでも日本の文化を伝えようという狙いをもち、日本語を選択している生徒に対し、「書道・かるた・武道（柔道・剣道・合気道・弓道・少林寺拳法）・けん玉・コマ」の紹介を英語で行い、その後動画や実演も交えて紹介しました。今回は隣接する小学校でも日本文化を紹介する時間を頂き、同様の発表を行いました。ニュートンモア生・小学生共に目をキラキラ輝かせながら北陵生の発表を聞き、大変楽しんで体験をしてくれました。まさに北陵生が日本の文化を伝える大使のような役割を演じてくれました。

オーストラリアのゆとりのある生活様式、美しい自然、温かい人々のおかげで、参加者全員オーストラリアを満喫し、大好きになりました。それと同時に海外に出て初めて分かった日本の良さを多数発見することもできました。また、言語が異なっていたとしても、コミュニケーションを図るには、その言語の力より伝え



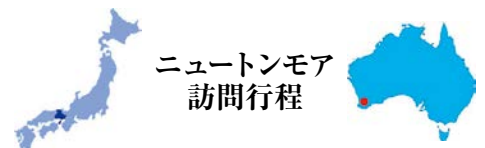
ようとする意欲がいかに大切なのかも体感する11日間でした。折に触れて間違いを恐れず日本語でも英語でも自分の思いを積極的に伝えようとする心を持ち続けてほしいと望んでいます。

同窓会・PTAからのご支援のおかげで今回の訪問も大変成功裏に終えることができました。参加した生徒・引率教員共に、現地で受けた大変温かいもてなしに対し、来年度できる限りお返しをしたいと願っています。引き続き、ご協力いただけると幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



来年度NMSHS受入の予定

9月27日(日)
関西空港到着・歓迎会
9月28日(月)～10月2日(金)
北陵高校訪問
10月4日(日) 川西出発



- 7月27日(土) 関西空港出発 → 香港空港経由
→ パース空港到着
- 7月28日(日) パース市内観光 → バンバリーへ移動
→ 歓迎会 → ホームステイ
- 7月29日(月) ニュートンモア高校訪問1日目
(スクールツアー・北陵生に向けた授業)
- 7月30日(火) ニュートンモア高校訪問2日目
(北陵生に向けた授業・歓迎式典・日本文化紹介)
- 7月31日(水) ニュートンモア高校訪問3日目
(ホスト生と一緒に授業・日本文化紹介)
- 8月1日(木) ニュートンモア高校訪問4日目
(ホスト生と一緒に授業・近隣小学校訪問)
- 8月2日(金) ニュートンモア高校訪問5日目
(ホスト生と共に遠足)
- 8月3日(土) ホストファミリーとの休日
- 8月4日(日) バンバリー出発 → ストロマトライト見学
→ フリーマントル観光 → パース到着
- 8月5日(月) パース観光 (Caversham Wildlife Park・Shenton College・Cottesloe)
→ パース空港出発
- 8月6日(火) 香港空港経由 → 関西空港到着

川西市 ふるさと支援金

希望するコミュニティを選んで
寄付できるようになりました。

あなたのふるさとや
故郷のご家族への思いを
地域の支援へつなげませんか

“ふるさと支援金”とは

ふるさとづくり寄附金[※]の使い道を選択していただく際に、市外在住の方に限り、各コミュニティ組織を指定することが可能となりました。いただいた寄付金と同額が、指定されたコミュニティに「ふるさと支援金」として市から交付されます。

ふるさと支援金については、川西市ホームページをご覧ください。

<https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/kurashi/shimin/1001488/1008696.html>



ふるさと納税制度

ふるさと納税は、生まれ故郷やお世話になった地域、応援したい地域を自由に選んで寄付という形で想いを届けることができる制度です。

※川西市では市へのふるさと納税を「ふるさとづくり寄附金」と名付け、ふるさと川西への想いや市のまちづくりに共感いただける方の想いを寄付としてお受けしています。

兵庫県川西市のコミュニティ組織

川西市では、概ね小学校区を単位として、その地域内で活動する自治会をはじめとした地域活動団体で“コミュニティ組織”が結成されています。夏祭りや運動会といった交流、防犯や安全・安心なまちづくり、地域福祉の向上に関することなど、活発な活動を行っています。

また、各コミュニティ組織は、地域のありたい姿を実現するため「地域別計画」を作成し、まちづくりを進めています。

北陵コミュニティ

毎年秋に深山池公園野外ステージで「虫の声と音楽の夕べ」を開催しています。緑豊かな公園を日常的に活用しようと月一回、住民による珈琲屋台Smile caféを開きながらピクニックを楽しむイベントを実施しています。

地域の財産である公園を中心に、まちを楽しむ暮らしと一緒に編んでいきましょう。



同窓会公式ホームページのご案内

同窓会員の皆様の日常的なコミュニケーションの場となるSNS形式のホームページを運用中です。懐かしい再会、新しい出会いの場として楽しくご利用ください。

- ◎登録した名刺から、友達の名刺へメッセージが送れます！
- ◎コミュニティは会員が自由に参加・コメント開設できますよ！



母校・同窓会の情報が満載！

<https://www.bikita.jp>にアクセスし
はじめての方はコチラ をクリック！
IDとパスワードをお問い合わせください。



スマートフォンの方は
「初めての方」から
お問い合わせください。



本同窓会は、小野高速印刷(株)の運営する同窓会コミュニティサイトBikita(ビキタ)を利用し、ホームページとメール転送サービスを行っております。